



～こころのサポート～
スクールサポーター
(臨床心理士)
小林 真理

こころのぼ

見えてるのに「見えてない」?

「ビジョントレーニング」という言葉を耳にしたことはありますか？

「ビジョン」は「視覚」、「トレーニング」は「練習・訓練」という意味です。ここ数年、学校現場ではこの「ビジョントレーニング」という言葉と共に、その背景となる「見る力」の重要性が見直されてきています。

「見る力」というのは、私たちに一番馴染みのある「視力」に加え、目の筋肉の動きをコントロールする「眼球運動」、寄り目をしたり離したりして瞬時に対象となるものの遠近感や位置関係をとらえる「両眼のチームワーク機能」、ピントを合わせてきれいに見るための「調整機能」など、**見て情報を取り込むための目の機能**、目に入る情報の大事な部分に注目し、それ以外の部分は無視する「視

覚的注意」、位置や空間を捉える「空間認知」、見た情報を記憶する力「視覚記憶」など目から取り込んだ情報を理解する機能、目と手を連動させて動かす力や身体の動きや手足の状態の感覚など見る力以外の**感覚機能や運動機能との連動**、といったように、「見る力」はいろんな機能(取り込む・理解する・運動機能との連動)から成り立っているのです。

視力は悪くない(視力検査では問題がない)のに、教科書や文章などの著しい飛ばし読みや、黒板やドリルなどを書き写すことが苦手だったり、漢字の形が歪んでしまったり、図形の問題を解くことが苦手、といったような学習活動における困難と同時に、読み書きを無意識に避けてしまうようにモチベーションを下げることに

も影響することがあります。「見る力」以外の要因として、知能、言語・聴覚、注意・集中などもあります。これらの要因がなくても「見る力」の機能がうまく働いていないと、様々な活動やモチベーションに影響ができてしまいます。反対に「見る力」が要因かと思われるような状態でも、その他の要因が考えられる場合もあるので、

子どもの特性を把握して対応していくことが大切なのです。

「見る力」に少し弱さがあったり、弱さはなくても経験不足によって練習が必要な子どもに関しては、その苦手部分を把握し練習を重ねることで「できるようになる」「コツをつかむ」ことができるようになっていきます。それがビジョントレーニングなのです。

できるようになる、モチベーションもあがり、普段の活動にも明るさや積極性が見られるようになってきます。また、苦手な部分を子ども自身も意識しながら練習を重ねることができるので、学習の場においても不必要に苦手意識をもつことも減ってきます。

とはいえ、日本での「見る力」に対する認知度はまだまだ低く、何とか特性を探り支援を模索しているという現状があります。十分ではないにしろ「見る力」のことや「ビジョントレーニング」は明らかに効果がある、ということを知っているだけでも「あれ?」と思った時に対応策の選択肢が広がりますよね。「見る力」に課題を抱える子ども達の笑顔が少しずつでも増えていくといいですね。

図書館コーナー

◆中軽井沢図書館

イベントのご案内

◎青木館長朗読会

エッセイ「熊」加賀乙彦 著
とき 6月13日(土)14時から

◎文化講座

「加賀先生の軽井沢
あつちっくサトウ」

女優の矢代朝子氏が聞き手となり加賀乙彦氏の軽井沢にまつわるお話をします。楽しいひとときをお過ごしください。
とき 6月13日(土)
15時から16時まで
先着80名まで

◎図書館友の会

「定例会」
とき 6月17日(水)10時から

「実験劇場」
大人向けの英会話
とき 6月17日(水)13時から
テーマ「梅雨」

◎われもこう朗読会

とき 6月7日(日)
13時30分から

◎おはなしツリー

・ちいさなおともだちの
おはなしの会
とき 6月8日(月)
10時30分から

◎おはなしの会

・おはなしの会
とき 6月21日(日)
10時30分から
テーマ 「特集松谷みよ子さん」

※図書館の利用にあたっては公共交通機関の利用をお願いします。

【申し込み・問い合わせ】

中軽井沢図書館
☎・FAX 41・0850

新しい本が入りました!

- アンタッチャブル 馳 星周 著
- ラブラスの魔女 東野圭吾 著
- 沈黙の山嶺 上・下 ウェイド・デイヴィス 著
- 有機野菜ビックリ教室 東山広幸 著
- そらまめくんのあたらしいベッド なかやみわ 作・絵

※図書館のホームページで蔵書検索ができますので利用してください。
<http://www.library-karuizawa.jp/>